

<ポイント版> ぎふ経済レポート（平成30年1月分）

【景況感】

景気は、一部に弱さもみられるが、緩やかな回復が続いている。

【製造業】機械工業を中心に持ち直しの動きが継続

○製造業は、鉱工業生産指数が、全体的に底堅く推移しており、自動車産業を中心に各企業からは、好調を示すヒアリングも多く、全体としては上向きの動きが継続している。

【地場産業】一部に持ち直しの動きもみられるが、厳しい状況が継続

○地場産業は、一部の海外向けには好調さも伺えるものの、全体的には、海外製品等との競合、国内需要の低迷、原材料費高騰による収益の圧迫、人材不足の深刻化など厳しい状況が継続している。

【設備投資】投資意欲とともに投資実績も上向いており、底堅く推移している

○設備投資は、設備投資実績は前期を上回り、設備投資意欲DIにも改善がみられ、国内の金属工作機械受注額も堅調に推移するなど、業績好調な企業を中心に設備投資は好調。徐々に設備投資の裾野が広がっている。

【個人消費】一部に弱さがみられる

○個人消費は、現金給与総額や実質賃金は改善が続いているものの、新車販売台数（軽自動車含む）は4ヶ月連続で減少し、大型小売店の売上も前年を下回っているなど、一部に弱さもみられる。

【観光】天候に恵まれず、入込観光客数は伸び悩んだ

○観光は、外国人観光客は好調な一方で、平均気温が前年より低下したことや、降雪が多かったことなど天候に恵まれず、入込客数が伸びなかった。

【資金繰り】資金繰りは改善しているが、小規模企業には厳しい状況が継続

○企業の資金繰りは、資金繰りDIには改善がみられ、事故報告件数も前年同月並みとなるなど、全体的には落ち着いているが、倒産件数は前年同時期より増加しており、小規模企業には厳しい状況が継続。

【雇用】雇用情勢の改善とともに、人手不足感の拡大が継続している

○雇用面は、完全失業率、有効求人倍率、学生就職内定率等の関連指標は、良好に推移しており、総じて県内の雇用情勢は引き続き改善している。但し、大手志向の強まりや、求人と求職のミスマッチ等により、多くの中小企業では採用難に陥っており、人手不足が慢性化しているとともに、人件費の高まりが収益を圧迫し始めている。